

1 目指す学校像

「一人一人が輝き、夢と誇りのもてる爽やかな学校」

- (1) 明るく元気な挨拶を交わす和やかな学校
- (2) 歌声が響き、声高らかに校歌を歌える学校
- (3) 生き生きと学びがあふれる学校

2 評価結果

*評価について

- ・ 4, 3, 2, 1の4段階で行う。
- ・ A:平均3.5以上 B:平均3.0以上3.5未満 C:平均2.5以上3.0未満 D:平均2.5未満

職	No	評価項目	評価指標	自己評価		学校関係者評価
				評価	評価の理由・課題	
1 組織・運営 (学校組織の活性化を推進する。)	1	「情報共有」と共通理解・共通行動	【各種会議や委員会、校務支援システム等を活用して情報を共有し、互いに協力し合いながら共通理解のもと職務に専念している。】	【年間】 3.46 B 【中間】 3.43 B	【評価の理由】 ○校務支援システムを活用し、情報の伝達が効率的に行われている。 ○概ねできていると考えられる。 ○職員会議がペーパーレス化になってよい。 ○職員会議のデータ化は作業の効率化に効果的だった。 ○互いに協力し合う体制が整えられていると感じる。 △PCによる職員会議は書き込みができないため、もどかしい面がある。 △校務支援での情報共有をさらに進める必要がある。 【改善策】 ・個々の意識を高める。 ・各担当で決められたことは職会で周知するという手続きを共通理解して進める。 ・校務支援を確認する習慣をつける。 ・職会資料をあらかじめ読んでおくことが必要。 【次年度への提案】 ・少なくとも各学年担当は入力されているかを確認する。 ・会議のペーパーレス化については効果もあるので、改善策を検討していく。 ・職員会議資料は事前に読み、自分の意見をもった上で会議に臨む。	・校務支援システムの効果的な活用で周知徹底するのは働き方改革につながる。 ・職員会議のペーパーレス化は素晴らしい取組である。 ・時代の変化に合わせてよいものは取り入れ、改善策は次年度に生かしてほしい。

2	各分掌・特別委員会 活動の活性化	【校務分掌の各主任 を中心に分掌内で課 題を共有し、前年度 の反省を生かした計 画を立てて実践して いる。】	【年間】 3.42 B 【中間】 3.16 B	【評価の理由】 ○分掌の主任を中心に、相談し合 いながら行えていると思う。 ○分掌内で課題を共有している。 ○分掌会議を定期的に行ってい るので、最新の情報を共有できて いる。 △1年目、または初めて担当した 分掌ではやりかたがわからない ことがある。 △おおむね達成できているが、前 年度の反省などがうまく引き継 がれず、課題として山積したま まのものもある。 【改善策】 ・個々の意識を高める。 ・分掌内で、協働意識を高め、教 え合える環境づくりが必要。 ・分掌会の時間を細かく決めて おく（～時、～部） ・前年度の反省を生かし切れて いない部分がある。 ・引き継ぎがうまくいくように 資料の充実や分掌内で仕事が偏 らないようにする。 【次年度への提案】 ・分掌や行事のデータは蓄積さ れている。データの場所はわかれ ば引き継ぎもスムーズに行える。 しかし、前年踏襲で年度だけ変え て提案できてしまうマイナス面 もあるので、前年の反省を生か し、各取組を更新していく必要が ある。	マイナス面はそのままにせず、 今後に生かした取り組みをお 願います。
---	---------------------	---	--	---	--

2 学習指導 (確かな学力を育成する。)	3	一人一人のニーズに応じた適切な教育の推進	【各生徒の到達度を把握し、それに応じた手立て、方策を考え、個別に対応するよう工夫している。】	【年間】 3.33 B 【中間】 3.42 B	【評価の理由】 ○夏休みの補習等や、提出物の管理を通して、生徒一人一人に対応できた。 ○学びたいという思いで、補習を期待している生徒もいる。 ○学習において、支援・指導が必要な生徒に対して、学年や特別支援学級などと連携をとりながら対応することができた。 ○時間のない中で努力している。 △学年で状況を綿密に共有することが少なかった。 △小学校からの積み残しの部分から、指導が必要なこともある。 △学力への配慮が必要な生徒が多い。習熟度に応じた授業対応が大切。 【改善策】 ・全てに対応していくのは難しいが、できる限りすすめる。 ・補習等をする。 ・部活のない水曜日を利用したいが、難しい面もある。月に1度程度、学校で指定して補習を行ってはどうか。 【次年度への提案】 ・教科ごとに特性があるので、教科部会ごとに統一して、授業を基本に補習等を行う。	・補習室の完備や補修の機会の確保がなされていて学習環境が整っている。 ・落ち着いて授業が進められており、学習規律があることがうかがわれる。 ・専門性をいかした授業の様子が感じられる授業が多くあった。 ・学校での対応については丁寧に指導していただいていると思う。学力の差もあるが、各家庭で学習環境を整える必要がある。
	4	学習規律が整い、安心して学べる雰囲気醸成	【学習の向上を目指し、生徒の実態に基づいて学習ルールを定めて、授業改善に努めている。】	【年間】 3.41 B 【中間】 3.27 B	【評価の理由】 ○ルールを学年の初めに話し、逐一生徒に確認しながら授業改善に努めた。 ○学年が上がるにつれ、チャイムの前に着席するルールが定着しているように感じる。 ○加中5カ条に基づいて、学習規律が整っていると思う。 △生徒の実態からは、学習習慣の確立が必要と感じた。 【改善策】 ・IT等を活用して、授業を振り返る機会を増やす。 ・全校で取り組めるようなこと(例えば、週1の朝学習や自主学習ノートづくり等)があると良い。 【次年度への提案】 ・教員が率先して時間等の授業規律を守れるよう行動する。	・教員が、模範となり子供たちを先導してほしい。

5	基礎・基本の確実な習得ができる指導の工夫	【わかりやすい授業を工夫し、基礎的・基本的な知識・技能の定着に努めている。】	【年間】 3.46 B 【中間】 3.45 B	【評価の理由】 ○先生ごとに特色ある授業を心がけている。 ○ICTを活用するなどして、学習内容が共有できるように工夫していると思います。 ○授業目標や振り返りを分かりやすいよう板書を工夫した。 △ICT活用が困難な点 【改善策】 ・ICTにおける備品の整備 ・もう少し小テストを取り入れ学習の定着を図りたい。 ・板書に課題とまとめを必ず入れ、配慮の必要な生徒への定着を図る。 【次年度への提案】 ☆ICT機器の充実を推進する。 ☆機器の管理（リモコン等）を徹底する。 ☆ICT機器それぞれで何ができるか研修を行う。	・多感な時期の子供達の自己指導能力の育成には難しさもあるが、道徳科の指導効果において期待することは大きい。 ・不登校生徒への対応がなされ、教科別に参加できるものもあるということで対応の成果が出ている。 ・SNS使用による課題は多くさらに組織的な対応が必要である。 ・個々のスキルアップを図るためにも研修を取り入れてもよいと感じる。
6	主体的に学び合う活動の推進	【各教科等の指導では適切に協調学習の場を設定し、主体的に学び合う活動を取り入れるように工夫している。】	【年間】 3.46 B 【中間】 3.36 B	【評価の理由】 ○各教科で行われているから、生徒たちも割とスムーズに活動が行われていると思う。 ○協調学習がメインではないことの共通理解がこれからの課題となる。 ○主体的に学びあうための話し合い活動を取り入れた授業を心がけ実践している。 【改善策】 ・主体的に学べるように計画的かつ具体的な授業計画が必要と考えた。 【次年度への提案】 ・主体的に学べるように、評価と連動した具体的な授業計画を立てる。	

3 生徒指導・教育相談（生徒指導・教育相談を充実させ、いじめ・不登校の防止に努める。）	7	自己指導能力（自己存在感・共感的人間関係・自己決定）を育成する指導の推進	【学校生活アンケート、時場礼アンケート調査結果が80%以上になるような取組をしている。】	【年間】 3.50 A 【中間】 3.17 B	【評価の理由】 ○ 委員会を中心とした取り組みがある。 ○ 道徳の授業で自己存在感を高める。 ○ 学年単位での共有ができている。結果に対する対応までの道筋の共通理解が必要である。 ○ 組織的によく取り組んでいる。 △ 授業前の着席が十分でないときがある。教員が率先して動く。 △ 挨拶ができない生徒には、教師から率先して挨拶をする。 【改善策】 ・教師が率先して動く（早めにクラスに行く、挨拶指導+教師からも挨拶） ・生活アンケートに関しては、桶川市全体の取り組みなので、学校単位で変更することが難しい。 早めに生徒や保護者に配布し、時間をかけて面談等をしていく必要がある。 ・時場礼アンケートは、学期末に実施したものを翌学期に集会等で生活委員から伝達。 【次年度への提案】 ・生徒に寄り添いながら、自らも成長する意識を。	・効果的な疾病予防の方策がなされており効果も出ている。 施設の老朽化対策は、難しい面がある。 ・ヘルメット着用の取組がなされている。 ・自転車の乗り方は、学校と家庭・地域で連携して乗り方指導を行っていく。 ・改善策に基づき、次年度につなげてほしい。
	8	いじめ・不登校解消及び未然防止に係る適切かつ迅速な対応	【職員相互の情報・意見交換の時間及び場を確保し、観察・声掛けを日々して、相談しやすい場の設定など積極的な教育相談を行い、いじめ報告30%減を目指す。】	【年間】 3.50 A 【中間】 3.43 B	【評価の理由】 ○ 教育相談部会を通して、各学年で取り組んでいる。 ○ アンケートなどを活用できている。 ○ 不登校解消は難しいが、相談室や保健室との連携は取れている。 △ 学年内での共通理解を図るのに時間がかかる。 【改善策】 ・学年を越えて意見交換が必要 ・いじめ報告30%減というより、解消の%増を目指していく。 ・何でも報告できる、し合える雰囲気・話す機会を増やす。 ・教育相談にどう対応していくか研修を重ねる。 【次年度への提案】 ・教育相談研修を夏休みの研修に加えてもらう方向で考えていけると良い。	いじめの実態を把握するのは難しいと思うが、引き続き注意深く対応していただきたい。

9	生徒指導委員会を中心とした組織的・積極的な取組の充実	【職員相互の情報・意見交換の時間及び場を確保し、それをもとに生徒一人一人についてきめ細かな対応を行い、保護者との連携も行っている。】	【年間】 3.42 B 【中間】 3.43 B	【評価の理由】 ○ 主任を中心にきめ細やかに対応できている。 ○ 生徒一人一人に対応している。 ○ 職員会議で共通理解が図れている。 ○ 生徒一人一人への指導、保護者への連絡も行えている。 ○ 日ごろから職員室で生徒に関する情報を共有できている。 △ 保護者との連携に関してはさらにきめ細やかに行う。 △ 学年内で情報が届いていないことがある。 △ 保護者連絡が後手に回ることがあった。 【改善策】 ・学年内で情報共有ができていないと、保護者連絡や対応が後手に回るので、情報共有をしたのち、解決までの道筋を逆算し、どういった対応が良いのか検討する。 【次年度への提案】 ☆ささいなことを個人で判断せず、組織として対応する。	・主体的にという意見があったが、今後の課題であるとも感じる。小中高の連携を深めて、解決させることが大切である。 ・玄関や階段の掲示が新しい。こどもの励みになる。教室前面は目標のみ、側面や後面には掲示の工夫がなされている。 ・学校側は、よく対応している。
---	----------------------------	--	--	---	--

10	教育相談部会を中心とした組織的・積極的な取組の充実	【生徒の個性や状況を早期に把握し、適切な相談活動（「3日欠席→家庭訪問」「保護者との連携」）などの対応を行っている。】	【年間】 3.42 B 【中間】 3.43 B	<p>【評価の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 担任が適切に対応している。 ○ 家庭訪問を通して、生徒の様子を把握しようとしている。 ○ 生徒が欠席した時、生徒指導が起きたときは、保護者に連絡を必ず入れている。 <p>△ 家庭訪問や連絡が難しい家庭がある。</p> <p>△ 担任によって、対応の差があってはならない。</p> <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の居場所づくり、存在感・自信をもっと付けさせたい。 ・長期欠席者への家庭訪問が難しい。 ・一人ひとりのニーズや状況に応じた取り組みがある。学年でよく考えて対応する。 ・長期欠席者の場合、対応の大まかな目安があるとよい。 ・学年全体で分担し、担任一人で抱えないようにする。 <p>原則・・・・・・・・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席は必ず保護者から連絡をしてもらう。朝の連絡がない場合は、副担が電話連絡をする。 ・3日休んだら家庭訪問か電話連絡をする。 <p>長期欠席者・・・・・・・・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期に1回は通知表を取りに来る。(本人・保護者) ➡面談 本人が無理な場合、保護者のみ行う。 ・進級時には校長先生と面談(本人・保護者) 本人が無理な場合は、保護者のみで行う。 <p>【次年度への提案】</p> <p>原則 配布物等もあるので、月1回は本人または保護者に来てもらう。 ➡面談</p> <p>(いなほ・サポート校の生徒は除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の相談部会の用紙は、来年度の引継ぎ用紙にもなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任によって差があるといけ ないが、3日休んだら連絡などの決まりがあるのはよいと思う。
----	---------------------------	---	--	---	--

4 健康教育 (体力の向上と健康・安全教育を推進する。)	11	疾病予防の推進	【疾病予防と早期発見・早期治療を呼びかけている。】	【年間】 3. 83 A 【中間】 3. 55 A	【評価の理由】 ○治療勧告の用紙を渡している。 ○健康診断の結果から治療勧告が出されている。 ○保健委員を中心によく取り組まれている。 ○通知が出されているので、動く生徒が多い。 ○掲示物を通して呼びかけが良くできている。 ○養護教諭を中心に、呼びかけや対応がされていると思う。 △再度治療通知を配布したが治療率が上がらない。 【改善策】 ・必ず受診してほしい疾病を中心に個別指導を行う。 【次年度への提案】 ☆治療率の向上 ①夏休み前までに、治療勧告用紙をもらい提出していない生徒を集める。《保健部会》 ➡なるべく夏休み中に治療を終えるように指導(治療計画を報告させる) ➡2学期に用紙を提出していない生徒に再度声かけ《担任》 ②11月の三者面談期間を利用し、再度勧告書を出す。 (三面で担任から保護者に渡してもらい、保護者の理解を得る)	・職員室の雰囲気良く、笑いがあることは良いことです。 ・校長先生の明るさが職員の励みになっている。 ・疾病通知の対応については、親の意識改革も必要であると感ずる。学校はよく対応している。
	12	活動時における安全指導と安全管理の充実	【施設設備の安全点検を実施するなどして、事故を未然に防ごうとしている。】	【年間】 3. 42 B 【中間】 3. 18 B	【評価の理由】 △安全点検で挙がったものがすぐに直せなかったことがあった。 ○毎月の点検が行われている。 △建物の老朽化が激しい。窓がしっかり閉まらない、手すりぐらつく等がある。 △校舎の戸締りが十分でない。 △安全点検表の提出が悪い。 ○毎月の安全点検だけでなく、部活動で使用する場所や教室の点検日頃から行っている。 △確認後の対応までできるとさらに良いと思う。 △予算の問題? 緊急性のあるなしになってしまっている。 【改善策】 ・自分たちで修理できるものは自分たちで行う。 ・下校時、使った階、教室の戸締りを生徒に徹底させる。 ・安全点検表の提出を各学年でしっかり呼びかける。 【次年度への提案】 ・修繕願の提案	・修繕リストを作成し、優先順位をつけてみてはどうか。

13	健康や交通安全の意識を高める指導の充実	【登下校や普段の交通安全の意識を高めたりしている。】	【年間】 3.40 B 【中間】 3.00 B	【評価の理由】 ○スケアードストレイトの講習を開催した。 ○集会時に生徒に呼びかけている。 ○ヘルメット着用になり、より安全になってよい。 △見えていない部分では自転車の並走等が多い。 ○交通安全についての指導をことあるごとに行っている。 ○口頭での注意や、下校時の様子の見守りを行った。 △交通事故等が起きている。 △全員で登下校指導に出る必要がある。 ○交通安全指導を強化し、生徒の意識を高めることができています。 △自転車事故が多かった。登下校隅々まで見えるわけではないからこそ、安全の意識を高めるようにしていきたい。 【改善策】 ・終業式の日など、安全指導を定期的に行えるようにする。 ・多くの先生に下校時の見守りを積極的に行ってもらおう。 ・交通ルール遵守の為に違反者に対して講座を開く。 ・多くの教員で登下校指導を行う意識が高められるとよい。 【次年度への提案】 ・罰則の追加 ・部休日に下校指導を実施	・計画的に実施し、連携されている。 ・ホームページの更新から学校の様子がよくわかる。 体験を取り入れた活動では、地域の力を借りて実施できる行事があり今後にも期待したい。 ・ヘルメット着用はよい取組である。
----	---------------------	----------------------------	--	---	---

<p>5 学習環境 (よりよい教育環境づくりを推進する。)</p>	<p>14</p>	<p>ユニバーサルデザインの視点に基づく機能的・美的な掲示の充実</p>	<p>【機能的、美的な掲示教育を進め、校内に活気と潤いを持たせ、特に教室前面の掲示物の位置を統一し、ユニバーサルデザインの視点で教室掲示を行っている。】</p>	<p>【年間】 3.56 A</p> <p>【中間】 2.86 C</p>	<p>【評価の理由】</p> <p>○前面掲示をシンプルにした 教室の前面掲示撤去は賛成である 前面は校訓のみで 10</p> <p>○掲示計画が出され、統一されている</p> <p>○掲示係として、高校案内をわかりやすく掲示した</p> <p>△前面掲示はシンプルすぎる。人間には慣れがあり、メッセージ性のあるものは残すべきである。</p> <p>△前面の掲示物の統一が完全でない。</p> <p>△各学級で掲示物の工夫が図られているものの、全面掲示では指導が入っている。</p> <p>△教室前面の掲示物がはがれなくなったが、塗装のはがれが目立つ。</p> <p>△学年の掲示物を行事ごとに合わせて作ることができなかった</p> <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前面掲示について協議し、「加納中スタイル」をつくっていく。 ・やることはみんなでやるというチームとして職員の意識を高める。 ・写真を活用するなどして、行事の前後に掲示物を作成する。 ・学年でペンキを塗る。 ・簡単な掲示物でも行事ごとに掲示する。 ・今日前面のテンプレートを示し、全教室で教室前面だけは統一するように具体的に示す。 ・本来はクラスごとの個性があってもいい。 <p>・学年目標・学級目標くらいは前面に掲示したい。</p> <p>・黒板の脇に関しては自由度を増やす。</p> <p>・教育的意図が見られる掲示も必要。</p> <p>【次年度への提案】</p> <p>①前面は「校訓」のみで統一</p> <p>②黒板の横のボードにはなるべく掲示物を貼らない⇒最小限に！)</p> <p>ユニバーサルデザイン化 (生徒の授業の集中力を上げる、先生方の負担軽減)</p> <p>・来年度夏休みに、前面黒板上部にペンキを塗る。</p>
---	-----------	--------------------------------------	--	---	---

	15	生徒が進んで学校美化に努める活動の推進	【清掃を全校生徒・全職員で一斉に行い、協働して学校美化を推進している。】	<p>【年間】 3.29 B</p> <p>【中間】 3.05 B</p>	<p>【評価の理由】</p> <p>○生徒が進んで清掃活動を行えるようになってきた。 ○無言清掃などの取り組みを通して、清掃活動が行われている。 ○清掃時間に掃除に進撃に取り組む姿勢を指導している。 △監督する職員の数が足りない。 △使われていない(授業等で)教室も清掃場所に入ってしまったので、なかなか充実した活動とは言えない清掃班がある。 △監督の目が行き届いていない。 △まだまだ意識が低い生徒への指導が必要である。 △各クラスの清掃用具を整える。 △本校の課題でもある昼清掃はやり直しが難しい。</p> <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当の先生が目配り、指導を徹底する。 ・生徒と掃除を一緒に行う中で、指示を出していく。 ・積極的に取り組んでいる生徒もいるが、指導の仕方でもっと取り組める。 ・できない生徒には徹底した指導を行う。 ・清掃の意義を理解させて、様々なところに気づく目をもつ。 ・生活・環境委員などの名前にしていただくと、清掃用具の確認や「窓びかひか運動」等の強化運動をしやすい。 ・清掃方法や片付けの方法を統一させる(資料を作る)。 ・特別教室等、毎日掃除しなくてもよい場所があると思うので、曜日ごとで変えるなどして、担当場所を見直す。 一人の教員が担当する場所が多すぎて貼れない場所があるので、あまり使用しない場所については大掃除などでやるようにして普段は外してもよい。 ・放課後清掃にして時間内に終わらせる、だめならやり直しの指導が必要である。 <p>【次年度への提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃用具の点検を学期に1回実施する。環境担当の先生が生活委員を動かしていく。 ・清掃用具が壊れてしまったら、なるべく直して使う。 ダメになったら、学年の清掃担当に伝える。 	<p>・人員が足りていないということなので、先生の目が行き届く範囲で清掃班を作るとよいと思う。</p>
--	----	---------------------	--------------------------------------	---	---	---

<p>6 教職員の資質向上（教職員一人一人の資質や指導力を高める。）</p>	<p>16</p>	<p>計画的・組織的な職員研修の充実</p>	<p>【教職員が主体性を持って参加できる研修を設定し、計画的、組織的に指導力の向上に努めている。】</p>	<p>【年間】 3.29 B 【中間】 3.14 B</p>	<p>【評価の理由】</p> <p>○主体的に学ぶ工夫を意識している。 ○おおむねできていると考えられる。</p> <p>○来年度は「道徳」ということで期待している。 ○研修がなされている。 ○研究推進委員の先生方、ありがとうございます。 ○学校課題研究を中心に計画的に進んでいると思う。 △今年度は委嘱研究が複数あったため共通テーマで全員がじっくり取り組むことが難しかったと思う。 △いろいろと混乱があったので急に行うことも多かったように思う。 △計画的に進めることができなかった。</p> <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすく取り組みやすいテーマを設定し、全員で研究できるようにしていきたい。 ・資料を出す前に運営委員会等で確認して、資料の統一をしてほしい。 ・全ての教員が情報を共有した上で進める必要がある。 ・個人の意識を高める。 ・見通しが大切なので、いつまでにこれを終わらせる、この状態に持っていくなどの目標を立てる。 <p>【次年度への提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度中に来年度の計画を立てておく。 ・今年度中に組織を作り、各部会の部長にも課題推進委員会に入ってもらい、各部会の進捗状況等を確認する。 	
--	-----------	------------------------	---	---	--	--

	17	職員相互の尊敬・信頼にもとづく積極的なコミュニケーション・アドバイスの実践	【職員相互の尊敬・信頼・協力により、生き甲斐と張りのある明るい職場をつくっている。】	【年間】 3.58 A 【中間】 3.23 B	【評価の理由】 ○職員間でコミュニケーションがとりやすい環境だと思う。 ○よくやっていると思われる。 ○職員間が明るい雰囲気である。 ○教職員同士が小さなことから報告しあえる雰囲気ができていると思う。 ○職員室では普段から会話が途絶えず、明るい雰囲気で職務に取り組んでいる。 △細かいところで、いい加減になっている状況に対して状況に対して、一つひとつ修正していく。 【改善策】 ・教職員同士のコミュニケーションが密にとられている。 ・ささいなことでも相談できる雰囲気がある。 【次年度への提案】 ・課題研究において各部会の進捗状況をこまめに伝えていく。 ・計画を細かく立て、職員全員が共通理解できるようにする。	
7 家庭・地域との連携（地域の特徴を生かした特色ある教育活動を展開する。）	18	小中一貫教育を念頭においた校種間（小・中・高）連携教育の強化・推進	【授業見学や出前授業、小中連絡会、小中研修会、各種学校行事への児童生徒の参加等、積極的に小学校との連携を図っている。】	【年間】 3.46 B 【中間】 3.36 B	【評価の理由】 ○小学校へ吹奏楽部が出張したり、あいさつ運動をしたりしている。 ○よくやっていると思われる。 ○校種間の連携が行われている。 ○授業見学などできている。 ○時間がない中、加納小でのあいさつ運動など積極的に参加できた。 ○生徒会によるあいさつ運動は定着しており、良い取組だと思う。 △出前授業や授業見学が行われ 【改善策】 ・出前授業は小中連携や教員の資質能力の向上のため、行ってもいいのではないかなと思う。 【次年度への提案】 ・出前授業については、中学校側の事情、小学校側の都合を考慮し検討する。	・小中連携が、よく図られている。継続してほしい。

	19	積極的な情報発信と 保護者・地域と連携 した活動の充実	【各種たよりやHP、 情報メール等で教育 活動の様子を発信し たり、積極的に学校 を公開し、教職員が 保護者や外部の人材 と積極的に連携をと ろうとしたりしてい る。】	【年間】 3.79 A 【中間】 3.55 A	【評価の理由】 ○HPを頻繁に更新している。 ○HP、情報メールの発信がある。 ○HPや情報メールの活用がある。 ○よくやっていると思われる。 ○行事を通して、さまざまなツ ールを使って情報発信ができてい る。 ○HPを通して学校の情報を地域 に広く発信できている。 ○情報メールの活躍の場が増え ていると思います。 【改善策】 【次年度への提案】 ・令和2年度は学級連絡網を作成 しない。	・情報メールは非常に役に立 つ。
--	----	-----------------------------------	--	--	--	---------------------

8 心の教育（全教育活動を通して、心豊かな生徒を育てる。）	20	自主的・実践的態度を育む学級活動・生徒会活動の充実	【望ましい集団生活の中で、一人一人が自主性や創造性を伸ばそうとする態度を育成している。】	【年間】 3.42 B 【中間】 3.32 B	【評価の理由】 ○学級を中心に、各生徒が生き生きと活動している。 ○学年での活動をもとに、自発的に行動しようとする生徒が多い。 ○自主性や創造性を伸ばす場を設定する必要がある。 ○集団としての一人として見て、さまざまな役割をその場で与えた。 ○委員会活動が少しずつ活発化されてきた。 ○生徒会が積極的に活動している。 ○学級活動を通して、個人が係や委員会活動を責任もって取り組んでいる。 ○行事ごとに生徒主体の活動がされている。 △委員会活動において、企画を行うときに子どもたちに周知できていない。 【改善策】 ・文化祭のクラス劇、有志合唱などたくさんの場面設定をする。 ・どこかで学級活動の時間がもっと増やしたい。 ・教員の個性を生かした学級経営、委員会指導ができるようにしたい。 【次年度への提案】 ・水曜日を「学活の日」として利用していいか。→学年で統一していければいい(学活の時間を確保のため) ・文化祭のクラス劇(3年生中心)、音楽会の有志合唱(音楽科の先生)を中心に行う予定。 ・朝会や給食の時間などを利用して、全校に発信する。(そのために教員が生徒に促す) ・職員玄関前の掲示物については継続的に実施→今年の作成を踏まえてもっと全校生徒に向けて発信する内容を検討を行う。 ・代表委員会も継続的に実施→各委員会の枠でおさめず、横のつながりを強化していく。
----------------------------------	----	---------------------------	--	--	--

21	<p>道徳の時間を要とし、道徳的実践力を育む指導の充実</p>	<p>【全職員が内容項目を理解し、道徳的価値を念頭に置いた指導をし、生徒の変容を見取り、評価している。】</p>	<p>【年間】 3.21 B</p> <p>【中間】 3.32 B</p>	<p>【評価の理由】</p> <p>○探りながらではあるが、道徳での指導、評価を学校全体で行えている。</p> <p>○道徳担当を中心に、統一した評価基準をもとに評価できている。</p> <p>○評価が心配だったが、主任が積極的に動き資料を作ってくれたのでよかった。</p> <p>○良い所をできるだけ多く見つけ、褒めるようにした。</p> <p>○道徳の時間数を確保していきたい。</p> <p>○道徳部会を中心に共通理解の上で、指導、評価をおこなっている。</p> <p>○教科化されたこともありどの学年も力を入れている。</p> <p>○学年内で道徳の授業共有を行い、高めようとしている。</p> <p>○明確な評価基準が出たので、これからの活用次第だと思う。</p> <p>○道徳主任の先生を中心に、教科道徳への取り組みが行われていると思う。</p> <p>○学年で統一され、指導を行っている。</p> <p>○教材研究をしっかりと行って授業をできている。</p> <p>○道徳の授業について外部の講師からご講演をいただいたことが勉強になった。</p> <p>○授業研究を行い、確実に授業を進められていると思います。</p> <p>△今後の課題もある。</p> <p>△すべてを把握しきれていない部分がある。</p> <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践を積み重ねたり、変容する生徒を実感したりできればよいと思う。 ・課題研究と共に研修を深めていく。 ・もっと道徳の授業力をつける。 ・研修会を開催する。 ・教科化にかかる評価に関する研究を研究主題を通して全校で取り組んでいく。 ・講演を年1回ではなく、定期的に複数回設けたらより深まる。 <p>【次年度への提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ローテーション授業を取り入れたい。教科に比べて経験値が少なく、同じ内容で3～4クラス工夫しながらできる。教員自身の得意な分野で授業ができるのは良いのではないか。 ・教員の道徳の授業力を上げるために研究を3年間でいろいろ試していきたい。アイデアを共有する ・小中連携を密に行う。(道徳については小学校が先行実施して
----	---------------------------------	--	---	---

					いるので参考にしていく。)	
22	豊かな心と感性の育成を目指した体験活動の充実	【積極的に地域の人材を活用するなどして体験活動の充実を図っている。】	<p>【年間】 3.54 A</p> <p>【中間】 3.55 A</p>	<p>【評価の理由】</p> <p>○文化祭体験講座は良い取り組みだと思う。 ○文化祭の体験講座をこれからも続けていきたい。 ○体験講座に対して、興味をもち、今後自分も行っていきたい。 ○文化祭体験講座を継続していく。 ○文化祭での体験講座など、地域とのつながりがある。 ○様々な課題がある中で充実しているほうだと思う。 ○文化祭などで地域の方々に協力してもらっている。 ○加納中の生徒はよく貢献している。特に文化祭。 ○体験講座をはじめ、地域の人材は積極的に活用できている。 △地域人材の活用等が、教員の負担にもつながると思うが、負担減という実感がわからない。 △授業等での活用ができるとさらに良い。</p> <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭が間近に控えているので、分担をもう一度確認しスムーズに進めていきたい。 ・地域の人材を利用していく際に、連絡を密に取れるようにする。 ・授業等での関わりを増やす余地がある。 <p>【次年度への提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動運営、授業運営での地域の人材をどうやって学校運営に参加していただくか検討していく。 ・負担軽減のため、引継ぎを明確にしてほしい。 ・県や市ではどの程度地域の人材を活用できるのか→教員としては情報把握に努める。 ・2年間実施した博学連携事業を地域人材の活性化と共に今後も継続して行っていく。 ・文化祭体験講座の講師との打ち合わせなどに関する引継ぎの強化→担当の先生が変わってもきちんと対応する。 ・文化祭体験講座ではお弁当持参とする。 		